

第12回 教科「理科」関連学会協議会 [CSERS] シンポジウム

市民として身につけるべき科学リテラシー

開催日時：2007年（平成19年）12月8日（土）午後1:30～5:00
開催場所：日本化学会7階ホール（東京都千代田区神田駿河台1-5）

中央教育審議会教育課程部会の「審議のまとめ（案）」が発表され、まもなく、PISAの「科学リテラシー」を中心とした結果が、また日本学術会議の「科学技術の智」プロジェクトの最終報告書が公表される予定です。このように理科教育のあり方や、誰でもが身につけるべき科学技術リテラシーが注目されている中、本シンポジウムでは、「市民として身につけるべき科学リテラシー」とは何かを考え、そのためにはどのようなカリキュラムを用意し、何を整備していくべきかを考えたいと思います。

プログラム

1 趣旨説明 13:00-13:15

荘司隆一(CSERS 議長 筑波大学附属中学校・日本理科教育学会)

2 基調講演 13:15-15:15

司会 伊藤 卓(日本化学会・化学教育協議会)

21世紀を豊かに生きるための科学技術リテラシー

北原 和夫氏(「科学技術の智」プロジェクト委員長・国際基督教大学)

PISA2006の結果について

小倉 康 氏(国立教育政策研究所)

〈休憩〉 15:15-15:30

3. 総合討論 15:30-16:50

司会 波田野 彰(日本物理教育学会), 鳩貝太郎(日本生物教育学会)

コメンテーター

- ・細矢治夫氏（お茶の水女子大学名誉教授：日本化学会・化学教育協議会）
- ・佐々義子氏（くらしとバイオプラザ21：日本生物教育学会）
- ・岡本弥彦氏（麻布大学：日本地学教育学会）
- ・村石幸正氏（東京大学教育学部附属中等教育学校：日本物理教育学会）

4. まとめと閉会の挨拶 波田野 彰(日本物理教育学会) 16:50-17:00

参加費は無料ですが、できるだけ氏名所属連絡先を記入した事前の申し込み(e-mailまたはfax)をCSERS事務局間々田までお願いします。

e-mail: BXS00633@nifty.com fax: 03-3530-0702

シンポジウム後に交歓会を開催します(会費:2000円)。是非こちらにもご出席下さい。